

第十三回「前田純孝賞」学生短歌コンクール入賞作品一覧

【選考選考部】

(中高校生の部)

前田純孝賞

親指のささくれだけに集中しつづぬけていき・けり・つ・ぬ・たり

神奈川県立上郷高等学校

安達美幸

(選評) 文語文法の授業ではなく、指のささくれに集中してしまうのも青春の「コマ」。過去・完了の助動詞を

列挙したアイデア、抜群です。

溶接の火花が壁に映す影光つては消えるモノクロの友

長崎県立長崎工業高等学校

荒木翔太郎

(選評) 溶接の実習事業。溶接に集中する友人のシルエツトだけをクロースアップした取材感覚がすばらしい。

動きが見事に表現されています。

準前田純孝賞

あと三秒とどけみんなのこの想い時間が止まるネットがゆれる

大阪教育大学附属平野中学校

上西崇広

譲れない頑固な私の進路希望親とぶつかるキツチン越して

兵庫県立八鹿高等学校

今井友紀子

秋の海白い砂浜に続いている長くつの跡大の足跡

兵庫県香美町立射添中学校

谷香澄

旋盤の音大井に反響し外ではボールさかんに蹴る声

長崎県立長崎工業高等学校

長戸美智代

新潟県長岡市

アンドウがきかないだけで嫌になるせめて「好きだ」と言えばよかった

北海道岩見沢市立清園中学校

秋元真利奈

海猫が優雅に翔んで白波が海猫追いかけて岩にぶつかる

北海道恵庭市立恵庭中学校

遠藤壮人

青空にかもめが泳ぐ南空パレットにのせた真白な絵の具

宮城県名取市立みどり台中学校

舩水由季

えんぴつの水色はいつも晴れていて雲一つない青空みたい

群馬県共愛学園高等学校

須永美穂

友人と暗くなるまで語り合つこの教室だけ明かりついでる

静岡県加藤学園暁秀高等学校

荒井梨沙

海外のパレードに出た部活動ファゴットの音上海の街

大阪府立夕陽丘高等学校

芳本由貴

だんだんと綺麗になつてくその人は私と同じ君に恋する

大阪府立夕陽丘高等学校

香山美紅

漁師町漁船が停まる港には大きく響く人々の声

兵庫県養父市立八鹿中学校

前田知毅

ラーメンにお湯を線まで入れる今日孤独な日々が今日も続く

兵庫県立浜坂高等学校

村尾史人

練習で焼けた肌色小麦色白い歯キラリ笑顔が光る

岡山県津山市立加茂中学校

厨子明恵

新温泉町教育長賞

ここにしか咲かない心いつまでも大事にするよわたしの居場所
元日に船縁の竿へ魚信来て上がってきたのは真紅の真鯛
楽譜達他の人には普通の紙も私にとっては思い出の音
大会で力の限り剣交え面に隠した涙がしみる
なんだろうつ分らないけどこの思い伝わらないし伝えられない
あと一球静まり返る声援とトランペットと息を飲む音
受話器越し同時に重なる笑い声なんだかちよつと温かくなる
月天心誰も走らぬグランドに一人残りて練習をする
回路図の配線さつそくからみ出し心落ち着けて配線ほどく
硬球がファールで森に飛んだ時木に宿る風ブイイングする

神戸新聞社賞

波の音さざめく中にただ一羽はぐれた鳥がなっていたんだ
放課後の静かな校舎あかねいろ遠くに響くトランペット
寝転んだ視点から見た君の足気付かれぬよう頭をのせる
あんたがないつも笑うでわたしもなつられて笑ってしまうんやん
海開き売店ペンキ塗らたてでいつもと違つにおいがした
あなたから見慣れた文字で真つ白なきれいな封筒で手紙が届いた
地下鉄に初めて乗つてうれしかったドキドキしながら座っていたね
生徒達さわめき帰る疲れ果て夕日残れる競技場かな
金属の削られる音聞き慣れて体になじむ実習時間
汗がでる真夏の製図検定に汗落としたら減点される

佳作

記念日にふたりピタツとくつついて赤く染まって紅葉を見てる
どこかこつ片仮名表記のレンアイはゲームのような言葉の空しさ
青春の塊だった日々だったただただ君といた日々だった
ふざけあつ私たちの友情を夕焼けだけがいつも見えていた
千本の浜から見える西浦のみかん工場四角いよ
陽が昇り海のいのちが動きだす魚のダンスサンゴの合唱

北海道岩見沢市立清園中学校 杉本恵美
静岡県日本大学三島高等学校 松本和樹
大阪府立夕陽丘高等学校 横川津香沙
兵庫県姫路市立飾磨西中学校 前田晃宏
兵庫県香美町立香任第一中学校 安井麻耶
兵庫県立宝塚北高等学校 福田あいり
兵庫県立浜坂高等学校 西岡綾香
岡山県立倉敷工業高等学校 安田遼平
長崎県立長崎工業高等学校 佐藤龍馬
長崎県立長崎工業高等学校 井手口晃

群馬県共愛学園高等学校 今村恵理
大阪府立夕陽丘高等学校 槌谷龍太
兵庫県神戸市立須磨高等学校 平井陸治
兵庫県六甲市立一宮南中学校 岩西菜摘
兵庫県新温泉町立浜坂中学校 乙野安菜
兵庫県香美町立射添中学校 高垣伸吾
兵庫県丹波市立山南中学校 竹安江未
岡山県立倉敷工業高等学校 川田雄也
長崎県立長崎工業高等学校 浅山達郎
長崎県立長崎工業高等学校 岩永翼

北海道岩見沢市立清園中学校 鈴木綾乃
福島県立磐城高等学校 井上法子
東京都立若葉総合高等学校 清水瑛伍
埼玉県ときがわ町立玉川中学校 飯島麻友
静岡県日本大学三島高等学校 青島慶
愛知県名古屋市長久寺立八王子中学校 隅山舞

声がするあなたはだあれ夜の海ケイタイ片手に佇む私
 陽も暮れて暗く静かな砂浜に片方残るビーチサンダル
 教科書の端に書かれた落書きは今も褪せずに残っているよ
 高高と夢をのせてシャトル打つ鳥に戻ってもっと飛んでけ
 今何月？ふと聞いてみた会話から巻き戻される春の思い出
 透き通る夢の中ならどこまでも僕を呼んでる方へ進める
 色あせた写真にうつる若き母今のわたしどこか似ている
 友達と休み時間のおしゃべりが青春なんだと感じるこの頃
 陽炎のほのめく影を追いかける翼が欲しい私の背中に
 村中で受けついでいる屋台ねりみんなの背中に汗が流れる
 晴れきつた真夏真夜中むきだしの宇宙を君と引つかきに行く
 大きくて少し湿ったあなたの手離したくない離れたくない
 日本海沖に出ていく船達を導くよつに鳥も翔ひ立つ
 にぎやかでとてもうるさい教室で私は今日も笑っています
 ピアノ弾くあなたの背中恋しくて二つ並んだ八分音符
 あなたがね頭の中にいるんだよ後ろすがたが描けちゃうんだ
 学校を休んだ君にメール打つ今日は少し寂しかったよ
 黙々とメールを送りそわそわとケータイ開けてドキドキしてる
 受けとった添付画像の中にみた秋の風景心に染みて
 卓球部個人だけど一人じゃない後ろでみんなが支えてくれてる
 黒ずんだ楽器をひたすら磨いてく三年間の感謝を込めて
 オレンジに染まつた海が「お疲れ」と潮風に乗せ話してくるよ
 夕波に打ち上げられた魚みたいに泳ぎ疲れて立ちつくしてる
 カチカチとマウスで画面につくり出す私だけの理想の部屋を

大阪府立夕陽丘高等学校 東理沙
 大阪府立夕陽丘高等学校 坂本稚
 大阪府立夕陽丘高等学校 勝藤萌奈
 大阪府立夕陽丘高等学校 青山梓
 大阪府立夕陽丘高等学校 吉崎瑛理
 大阪府立夕陽丘高等学校 林優佑
 大阪教育大学附属平野中学校 山中可純
 兵庫県小野市立小野中学校 駒田花澄
 兵庫県立佐用高等学校 和田有加
 兵庫県立用高等学校 野崎美咲
 兵庫県六甲市立一宮南中学校 平手ちひろ
 兵庫県姫路市立飾磨西中学校 岡本有加里
 兵庫県神戸市立須磨高等学校 坂本美月
 兵庫県立浜坂高等学校 奥村望美
 兵庫県立浜坂高等学校 本多悦子
 兵庫県立伯耆農業高等学校 藤原彩生
 兵庫県神戸市立六甲アイランド高等学校 藤井佑美子
 兵庫県立八鹿高等学校 小林直天
 兵庫県立八鹿高等学校 濱勇斗
 兵庫県新温泉町立夢が丘中学校 中野仁美
 兵庫県新温泉町立夢が丘中学校 西村香
 徳島県鳴門市立第一中学校 黒崎志帆
 長崎県立長崎工業高等学校 久保康平
 長崎県立長崎工業高等学校 三枝冬華

(学校表彰の部)

【学校特別賞】

大阪府立夕陽丘高等学校
 長崎県立長崎工業高等学校

【学校賞】

大阪教育大学附属平野中学校・兵庫県立八鹿高等学校・兵庫県立宇塚北高等学校・
 兵庫県立浜坂高等学校・兵庫県新温泉町立夢が丘中学校

(大学生の部)

前田純孝賞

いやなとこみつけるたびにしかめつらいつつもしんはっけんのよろこび

立命館大学

鈴木あゆみ

(選評) 男女が広く深く知り合ってゆく過程を、的確に表現した表現力に感心しました。

平仮名のみ

表記は、ソフトな手触りを出す工夫でしょう。

準前田純孝賞

笑ってるあなたにいられて笑ってる何でもないようなことなのに

駒沢女子大学

柳川麻生子

雪になる雨の降る中待っている君の言い訳を聞くためだけに

茨城大学

大島愛美

新潟県長岡市

呼吸するように優しく波寄せる孤独楽しむ晩秋の浜

東京工業大学

北村有佳里

「愛なしに人は生きられぬ」といつ冊子手元におきて作業準備す

佛教大学大学院

中島あつ子

午前四時炊飯ジャーと私には感じるこれが生きるってこと

同志社大学

辰巳幸

客席に君が来ている舞台袖さあ慕が聞く高鳴れる胸

京都造形芸術大学

川口聡

過ぎ去りし時間は地層のごとくなり全てのものを鎮めて眠る

放送大学大学院

小村典央

新潟県長岡市

しろねこがあなたの家に向かったら抱きよせてみてそれはわたしよ

宇都宮大学

浮階沙織

街角に見つけた君の面影は色あせぬまま冬がまた来る

早稲田大学

萩原直子

今は亡き人の容貌浮かび来る海の面に踊る光に

慶應義塾大学大学院

河野雄一

「恋したね、洗濯物でわかるよ」と母に問われるピンクのシャツは

青山学院大学

佐藤菜穂子

夏休み裸足で走った須磨の海少年の日の夕焼の色

北大阪福祉専門学校

中野雄介

神戸新聞社

故郷として思い出づるは波の音夕日に光るほほの冷たさ

東京大学

役重みゆき

照れ屋だとわかってるけどたまに会う日は空ばかり見上げてないで

青山学院大学

山本恵

蒼すぎる秋空見上げたあと少し淡くていいから明日も青く

日本大学大学院

松波圭亮

濃紺に流れた星の音さえも聞こえてきそつね長月の夜

京都女子大学

遠藤華

ひかり射す春の終わりに融けてゆく散らない花の鮮やかな残像

琉球大学

安里真美

【ネット投票部門】
該当作品なし